



出超實に一万九千

素晴しく好調な常磐炭田

常磐炭田二月中の出炭成績は五日まとまった坑木の不足を始め資材難にも拘らず各務組の増産への熱意はよくこの悪条件を克服、目標二十萬二千トンに對しよく二萬三千八百三十三トンと一萬九千八百三十三トンの出超振りを示し常磐炭田の偉力を示した、東部管内も本月は前月の不振をとりかへし三萬二千九百九十四トンの出超をみせたが東北管内で相變らずの底力を示して一萬六千五百三十六トンという大きな出超振りを誇つたのが強くひびいたものといえる。

快調な主力産

底力示す東北管内

東北管内は十四萬六千七百トンの目標を一萬五千三百三十六トンも出超、十六萬三千二百三十六トンの実績をみせた、各炭産別をみると左の通りで小田、上山田、三和、田川の四産が目標に達し得たが、その他の各産は目標に達し得ず、常磐三産を始めとして主力三大炭産が素晴らしい快調振りをみせたのがこの大きな収穫をもたらしたものである(括弧内は目標との對比)。

○常磐ゆ本産三二、五〇〇、七〇〇
○同内郷産二、五〇〇、四〇〇
○同五、四〇〇、〇〇〇
○常磐九、五〇〇、九〇〇
○古河好間九〇〇、三〇〇、三〇〇
○大日本三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
○東部管内も目標五萬五、〇〇〇、〇〇〇

市の新年度豫算成立

三項目の希望意見つきで

あるので出来得るだけ厚遇すべきものと、思料せらるるも歳入に限度があるから豫算の範囲内に於て有能精勵の吏員に對し優遇の方途を講ぜられた。

尚これが達成の爲に内機構の改革、人事の刷新交流等をなし、活潑なる事務の進し、ようを期せられた。

二、第十三款財産費第三項財産管理費第一目保険料及特別會計公益質屋歳出第四

要求貫徹にま進

縣炭勞協 聲明

二月一日以來一ヶ月に及ぶ交し、於ては、同協会は最低賃金を要求中だつたが一日遂に交しよう決裂に陥つたので二日闘争本部に擴大幹事會を開いた結果五日、大要左の如き聲明を發しあくまで要求貫徹に邁進することを表明した。

藝能コンクール

同胞援護會支會が二十日民衆劇場で

同胞援護會支會の下部に全劇場に、海外に引揚者、戦災者その他生活困難者に対する後援資金の造成と郷土藝能の振興を期するため、二月二十日民衆劇場の後援第二回のど自慢藝能コンクールを開催する。

日本製業全焼

昨日の赤井の火事 損害は九十萬圓

四日午後六時二十分頃前時から同校講堂に赤井村大字赤井字反町市内各官衙の來賓多數、警視東線赤井駅前日の日席舉行した、優等生稲葉廣己(好間、菊池豊重(小名濱)、草野和夫(四倉)草野福重(湯本)、國井英雄(平)佐久間達雄(平)白土光夫(久の濱)、鈴木庄一(四倉)潮谷明(植田)、丹野俊山(平)丹野武宜(ゆ本)馬目修義(平)ゆ本大藏(植田)吉田直政(平)等十八回卒業式は五日午員長五ヶ年勤続賞は菊

第一回 藝能コンクール

のど自慢 三月二十日 民衆劇場

目的 縣下海外引揚者、戦災者、その他生活困難者に對する援護資金造成並に郷土藝能の啓發

開催時期 三月十五日

種目 一、歌謡、民謡、舞踊、萬才、浪曲等種目を問はず(但し演劇を除く)

二、賞金 同胞援護會賞 五百圓 一名 一等二百圓 二名 二等百圓 三名 三等五十圓 五名

一、會員券 一人拾圓

主催 同胞援護會平市支會 後援 民衆劇場

いわざ言

池重(小名濱)諸橋文士郎(平)の兩君に贈る

四日夜の出火の際には早速御馳付の上御盡力を戴き御陰で何等の被害もなく誠に有難うございました。取敢えず紙上に御禮申し上げます。石城郡赤井村大字赤井字反町

佐藤製材工場 佐藤 三平 佐藤 木工所 佐藤 武久 赤井製繩工場 長谷川 兵衛

御知らせ

市の新豫算無事成立す、そのき望意見中に優良吏員の待遇改善問題もふくまれている

●吏員連も市會のこの理解ある態度に應ずる覚悟を抱くべし

●第一校の促進督勵に市會も七名の臨時委員をあげる、一般市民も子弟のため全面的協力をなすべし

●赤井の日本よう業工場焼く、最近火災の多いこと、物資の乏しい折柄御注意を

●草野村泉崎青年衛生思想の普及に乘出す、眞に機宜に適した仕事大いに期待すべし

急募

製材工 四名
雑役夫 拾名
女子補助 二名
事務員 二名

平市仲町公會堂前 高給優遇す 限川製材所假事務所

